

◇ 松医会のページ ◇



—信州大学医学部同窓会—

松医会会員の皆様

平成22年1月末に本学の臨床研究棟の耐震改修工事が終了しました。昭和34年から43年に建築された建物が、見違えるほどきれいになりました。この原稿を書いている3月現在は各講座の移転準備が進んでいます。臨床研究棟の工事で平行して第1、第2臨床講堂の建物の耐震化工事も終了しました。これまで明らかに地震に弱そうだった第2臨床講堂の外観も添付した写真のように立派に補強されました。しかし、今回の工事では、国家財政事情が厳しいことから、講堂の内装刷新は見送られることになりました。外観はこれで立派になりましたが、第1臨床講堂はあまりに古く、構造的にも危険であることから、中身はすべて撤去されました。第2臨床講堂は皆さんが臨床講義を過ごされた時と同じ合板の固い椅子がそのまま残された状態です。



耐震補強の完成した臨床講堂の外観



第1臨床講堂の完成予想図

私は医学教育センターの教員をしている関係で、多くの大学の学生講堂を訪れていますが、アメニティーから見た講義室の状態は、全国最低クラスとなってしまいました。

一方で、昨今の医師不足のために、全国の医学部医学科の入学募集定員は増員されています。本学でも平成22年度より医学科の募集定員を113名にしております。2学年同時の臨床授業を想定すると数年後には250名程度を収容できる講義室がないと立ち行かなくなる状況です。このような理由で、医学部が独自に臨床講堂の内装工事の計画を立てることを余儀なくされました。

そこで、松医会では母校の窮状を見かねて、総額2億円を目標に、現在、講堂の内装を一新する計画を立てています。誠にありがたいことに、平成22年2月現在、既に約5,000万円のご寄附が集まりました。ご寄附頂いた諸先生には厚く御礼申し上げます。また、未だご寄附頂いていない先生におかれましては、1口5万円で、2口以上のご寄附をお願いしているところです。下のイラストは計画した改修後の第1および第2臨床講堂のイメージ図です。不景気で大変な時期ではありますが、母校の後輩達のため、前号でもお願い申し上げましたが、ご寄附をどうぞよろしくお願い申し上げます。

募金先

八十二銀行（金融機関コード0143）

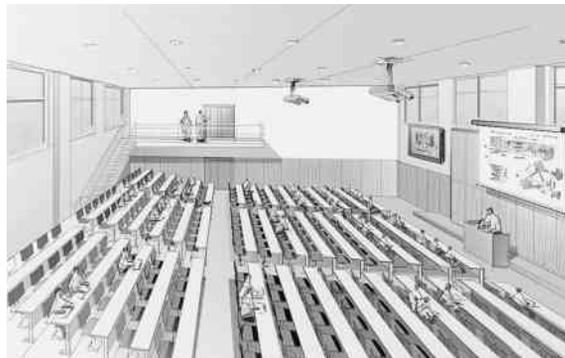
信州大学前支店（店番号421）

普通預金 口座番号 791546

受取人 信州大学医学部再開発事業

〒390-8621 松本市旭3-1-1

なお、本事業に対する寄附金は税制上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、所得控除額＝寄附金－5千円です。



第2臨床講堂の完成予想図

(文責 松医会理事 医学教育センター 多田 剛)